

## 令和4年度第2学期終業式 校長講話（要旨）

今日は12月23日終業式ですが、昨日の22日が何の日だったか、御存じでしょうか。昨日は「冬至」、一年で最も昼間が短い日です。現在、我々が使っているカレンダーでは、1年の終わりと冬至は1週間くらいずれています。冬至はそれを過ぎれば、太陽の生命力がよみがえり新たな1年が始まるという節目の日です。

さて、そういうわけで、もうすぐ令和4年（2022年）も終わりです。皆さんにとってこの一年は、どんな年だったでしょうか。

私にとっては、何かあっという間でした。日々の仕事や生活に追われているうちに時間が過ぎ、達成できたことや成長できたことはほとんどなかった気がします。

ただ、私が高校生の際はどうかだったのかなと考えてみると、その頃はびっくりするほど、1年間の密度が高かった気がします。

勉強も、部活動も、友人関係なども、あれがたったの三年間に起きたことなのだろうか、と不思議になるほどです。

いくつかの科目で赤点すれすれの成績をとってしまい、さすがにこれはまずい、と思って苦手科目の勉強に励んだこともありました。部活動では、関東大会まで行ってあと一息で全国大会という所で敗退したこともありました。友だちとも仲良くなったり、ケンカしたり、女の子に振られたり、振られたり、また振られたりということもありました。

今、現在高校生である皆さんも、自覚はしていないかもしれませんが、私から見れば、密度の高い時間を生きています。同じ1年間に私の何倍も様々な経験をしたり成長をしたりできるはず。実にうらやましい限りです。

しかし、このような密度の高い時間を生きられるのは、若いうちだけです。多分20代半ばくらいまでだと思います。

だから皆さんは、今の時間を大切にしてください。冬休みには、今年一年を振り返り、新しい年の目標をしっかりと立ててください。私もいまさらな感じはありますが、新年に向けて目標を立て頑張ってみようかと思っています。